

究極の HCL Notes や Nomad クライアント管理ハブ

 90%
SOLVE ADMINISTRATIVE TASKS FASTER

 80%
IMPROVE NEW WORKING

 95%
REDUCE STORAGE AND NETWORK LOAD

- 70 以上の国々で約 1,200 万ユーザーライセンスを販売した実績あるノートクライアント管理ツール
- Notes クライアントの有益な情報を把握 (Notes/Domino 6 以降で動作)
- Nomad Web/Mobile の HCL から提供されるプログラムには MarvelClient は標準で組み込まれており別途のインストール作業は不要
- 無償の機能限定版 MarvelClient Essentials は Notes/Domino 10.0.1 より標準搭載
- MarvelClient 基本機能 Basic に加え、目的に合わせて各モジュールをアドオン購入可能 (自動アップグレードの MCUppgrade など)

HCL Notes クライアント管理ハブ

Basic

Roaming

Upgrade

Eclipse

Realtime

Automate

Mail

Basic

MarvelClient 製品のベースとなり Notes クライアント(スタンダード、Basic、HCAA)や Nomad クライアントの設定情報を収集、分析ができ、かつ一元集中管理ができます。ワークスペースのアイコンの一括変更(追加、変更、削除)やロケーション文書/接続文書など MarvelClient Essentials の機能限定版では実現できない、Notes クライアント上のあらゆる設定の変更が可能です。

これにより、ヘルプデスク業務やアップグレード作業に関わるクライアント設定の変更など大幅な効率化が見込まれます。

Roaming

エンドユーザーがどこでも、どのPCからでも一貫性のあるNotesクライアントのワークスペース、ブックマーク、複製設定などごく小さなネットワークトラフィックでローミングを実現します。また、ローミングは Nomad Web/Mobile 間でも実現できるように機能を拡張しています。

Nomad Web ローミングについては裏面をご参照ください。

Eclipse

リッチクライアントの Sametime、Connections、サイドバーのプラグインのインストール/アンインストールなど Eclipse の設定を制御することが可能です。Sametime および Connections を Notes クライアントでお使いのお客様にはとても便利な機能です。

Automate

Automate が適用された Notes クライアントでは 社内の接続可能な Domino サーバー群から最も接続状態の良い Domino サーバーに自動で切り替え、ワークスペース上のアイコンも変更します。

また使用しなくなったアプリケーションアイコンも自動でワークスペースから削除することもできます。

複数の Domino サーバーが稼働し、リモート環境での作業が多いワークフォースには最適です。

Upgrade

Notes クライアントのアップグレードや FixPack の適用を自動化します。

社内のネットワークに負荷をかけずインストールプログラムをエンドユーザーの PC に配布。配布後、エンドユーザーがアップグレードの起動を受け入れると、古いプログラムをクリーンアップし、分かりやすいインターフェースを用いてアップグレードが開始されます。インストールプログラムの削除はもちろんアップグレードの各種設定も同時に行えます。

また、32bit クライアントから 64bit クライアントへのアップグレードにも対応しています。

Realtime

Nomad Web ユーザーによるワークスペース上の特定のアプリケーションへのアクセス、作成、削除に許可を与えたり許可されない制限を加えることができます。

Mail

エンドユーザーが受信する Notes メールのサイズや受信者の数など特定の条件を満たすメールに対してエンドユーザーにメールが配信されないよう制限を設けることができます。また、送受信のメールに添付されたファイルは自動的に Zip/Unzip され、ネットワークのトラフィックの最小化に貢献します。

ライセンスについて

- ライセンスはユーザー単位のご契約となり、HCL Notes/Domino の CCB ライセンス数と同数のご契約が基本となります。
- 新規販売のライセンスは2022年より**年間のサブスクリプション契約のみ**となりました。
- 基本ライセンスの「Basic」に加え、お客様が必要となる機能モジュールを追加してのご提供となり機能モジュールのみのご購入はできません。



Provide a Continuous User Experience, Anywhere, Anytime



HCL Nomad Web の運用で こんなお悩みはありませんか？

- Nomad Web ユーザーがブラウザ上で Nomad のリセットをしたり、ブラウザのキャッシュを消去して Nomad Web 上のワークスペース情報が消えてしまう
- 異なるブラウザ、PC で Nomad Web を開いた時、最後に使用していたワークスペースと異なる内容が表示されてしまう
- Nomad Web と Nomad Mobile で同期が取れず、オフィス、リモート、モバイルそれぞれのクライアント環境間の整合性が取れない



Nomad Web Roaming の必要性 (お客様からの声)

Notes クライアントのワークスペース情報を Nomad Web へ移行するのに無償の MarvelClient Essentials (Domino サーバーに搭載、panagendaフォルダーにセットアップウィザードあり)で可能なのは知っています。

但し、HCL Nomad Web へワークスペース情報をワンタイム行ってきたとしても、ユーザーが数ヶ月、数年と使用していくうちにユーザーの手によってワークスペースのアイコン配置が変わっていくことが容易に想定できます。したがって Nomad Web Roaming は必須と判断しました。

また、新卒/中途入社社員には Notes クライアントのインストールを今後はしないつもりなので標準のクライアントとして Nomad Web から開始する予定です。この点からも Nomad Web Roaming は絶対必要と考えています。

※ Notes クライアントと Nomad Web 間のローミングは現在のところ技術的な課題があるため提供しておりません



ケートリック株式会社は panagenda 社の日本国内で唯一の公認リセラーとして
製品販売および迅速な技術サポートを提供しています

Nomad Web ローミング機能などの panagenda MarvelClient 製品のお問合せ先

ケートリック株式会社
 プロダクトセールス事業部
 Email: contact@ktrick.com
 電話: 050-3553-7673

